

よみがえる縄文のムラ

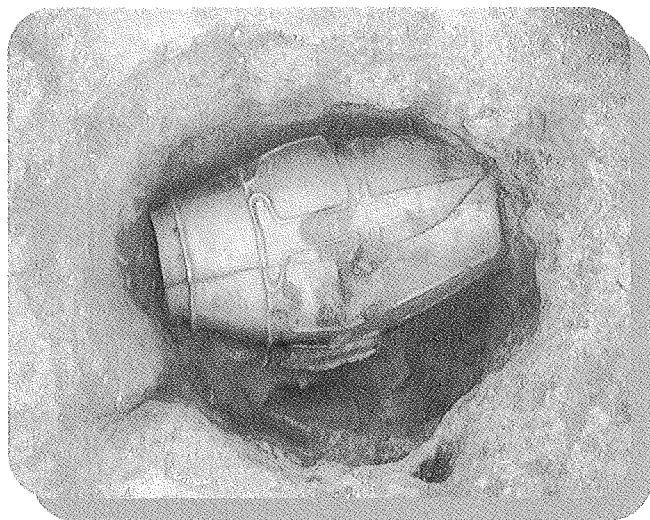
酒造(?)土器が出土

原町農高前遺跡(長坂町)

長坂町の県立北杜高校の建設にともなって発掘しています。昨年度も発掘しましたが、ちょっと場所がはなれたところになります。ここからは縄文時代中期のムラの跡がみつき、7月末までに竪穴住居跡が33軒もみつきました。縄文時代の竪穴住居跡は6m前後の楕円形で、地面から30cmほど掘り下げて床にしています。竪穴住居跡からはたくさんの縄文土器や石器、土偶など当時の生活に使われた道具が出土しています。なかでも竪穴住居跡の内側につくられた穴の中から有孔罎付き土器とよばれるめずらしい土器が横たわって発見されました。



竪穴住居から出土する縄文土器



たいへん貴重な酒造?土器

この土器は高さが約50cmと大形で樽のような形をしていて、縁に粘土帯と小孔がめぐっているのが特徴です。水もれを防ぐためか粘土も精選された極上品が使われており、土器のつくりもひじょうにいいです。この土器は一説には酒を作るのに使われたといわれています。山ブドウなどの果実を潰して入れて自然発酵させると果実酒ができるのです。しかし異論もあり、太鼓であるとか、蛇飼壺とかもいわれています。みなさんはどうお考えでしょうか。

実はこの下から太鼓のバチが二本・・・でませんでした

今年の発掘調査をみてみよう

平安時代の表門郷 うわとのごう 甲府市横根町 どどめぎ 道々芽木遺跡

昨年の調査でセミの彫刻がある海老錠がみつかり話題になったところですが、仏像を入れる木箱の錠と思われるものです。そして今年も引き続いて発掘調査を行っています。場所は十郎川に近いところで、たくさんの石がみられ、人為的に並べられたかのようです。ここは平安時代には表門郷(うわとのごう)として栄えていたところでもあり、仏像などの遺物が過去に出土しています。またこの周辺では、甲斐型土器と呼ばれる特徴的な土器がたくさんつくられ山梨県内に広く流通しており、土器生産の拠点でもありました。この遺跡ではたくさんの量の土器だけでなく、珍しい形をした高坏や皿など多くの種類がみられます。今も調査中ですが、どのような成果があるか楽しみです。



甲斐型土器の生産地 道々芽木遺跡

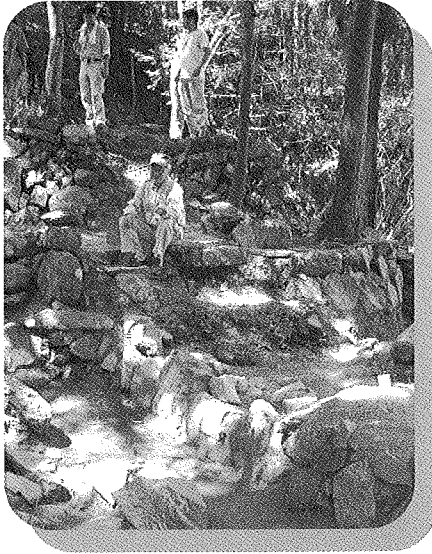
上黒駒バイパス 御坂町 はらやま 原山遺跡



原山遺跡を発掘しているみなさん

原山遺跡は東八代郡御坂町上黒駒にあります。国道137号線が神座川を渡る十郎橋南側の尾根の狭い平坦面に立地します。上黒駒バイパスの工事に伴い5月14日から7月9日にかけて発掘調査しました。500㎡ほどの狭い畑から、約800点の土器片や石器などの遺物が出土しました。調査の結果、昭和の初期頃の開拓で削られ、住居跡などの遺構はあり

りませんでした。しかし、出土した土器は大半が縄文時代後期中葉(3000年前頃)の加曾利B式土器で、甲府盆地内では4例目と非常に数の少ない時期の遺跡です。

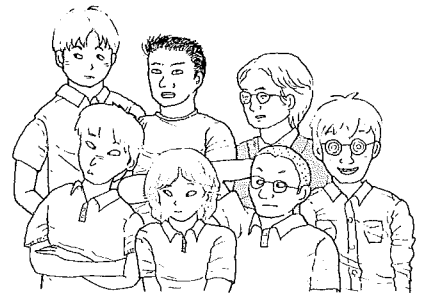


山間地での発掘調査
金山金山遺跡

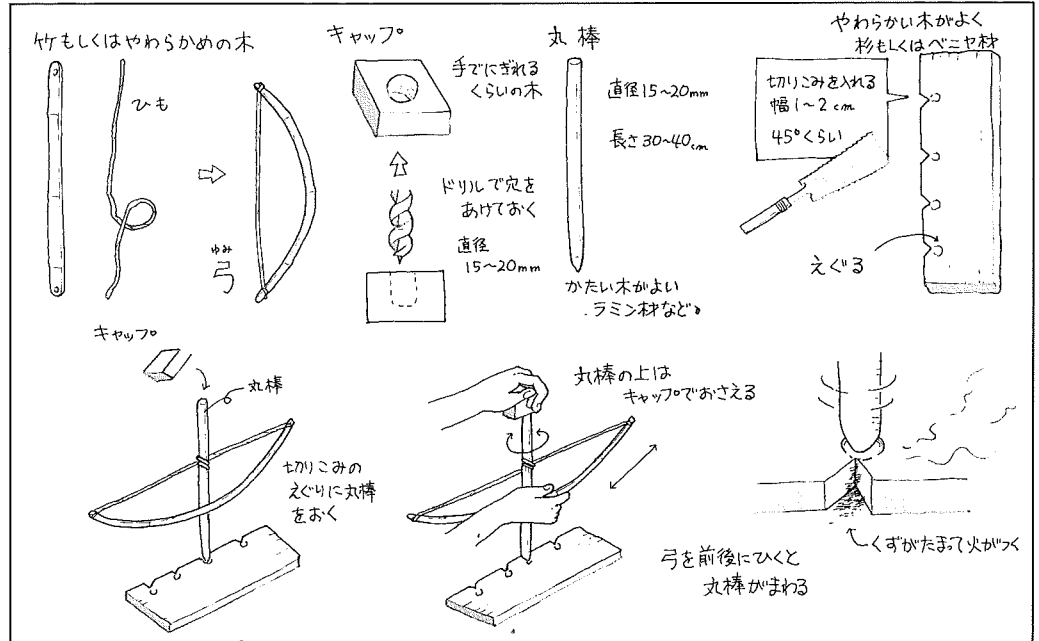
秋山村 かなやまきんざん 金山金山遺跡

秋山村にある金鉱山跡で、近世から続いた神社の跡がみつかっています。川沿いにあるため何度か作りなおしているようで、また火災にあった形跡もあります。出てきた石垣が歴史を語っている様です。

資料普及課が行く2



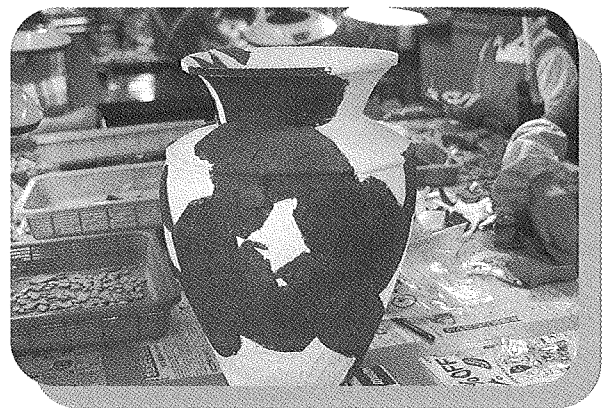
スタッフが変わりましたが、ますますがんばっていきたいと思います。いままでどおり小中学校の出前授業や子供クラブなど多方面からの連絡をおまちしております。メニューは土器づくりや火起こしなどですが、今回は、秘伝の火起こし器を紹介します。自分で作ってみよう。これは弓切りという火起こし方法です。



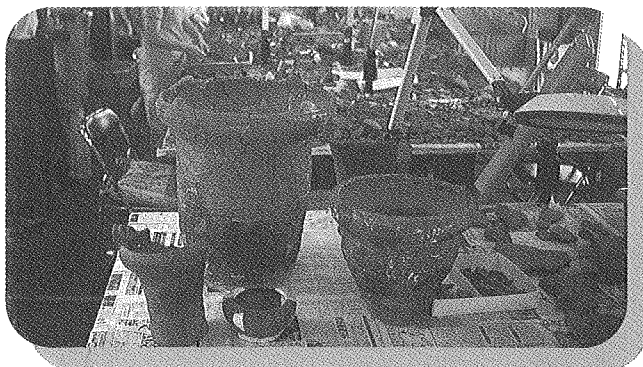
問い合わせ先 055-266-3016 普及課まで

進む整理作業 白根町百々遺跡 塩山市大木戸遺跡

中部横断道・甲西バイパス建設に伴い発掘調査をおこなった平安時代の大集落、白根町百々遺跡の整理作業が進んでいます。たくさんの出土品を水洗いしたあと、バラバラになっている土器を復元しています。この過程で、墨書土器や珍しい緑釉陶器、また浄瓶の破片や鉄鐸らしきものもあり、この遺跡の重要性がわかります。



百々遺跡の突帯四耳壺

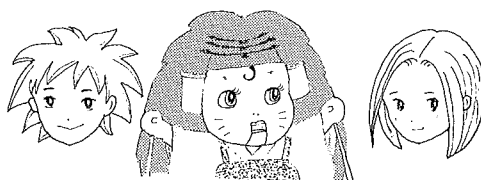


大木戸遺跡の縄文土器

塩山バイパスで調査した塩山市大木戸遺跡の整理作業でたくさんの縄文土器が復元されてきました。縄文時代の中部地方を代表する豪華な文様をもつ縄文土器があり、見ごたえがあります。きっと近いうちに皆様にご覧いただけることでしょう。

Q&A 教えてシンゲン君!

二代目



質問：ほんとうに土器づくりをしてみたいのですが？

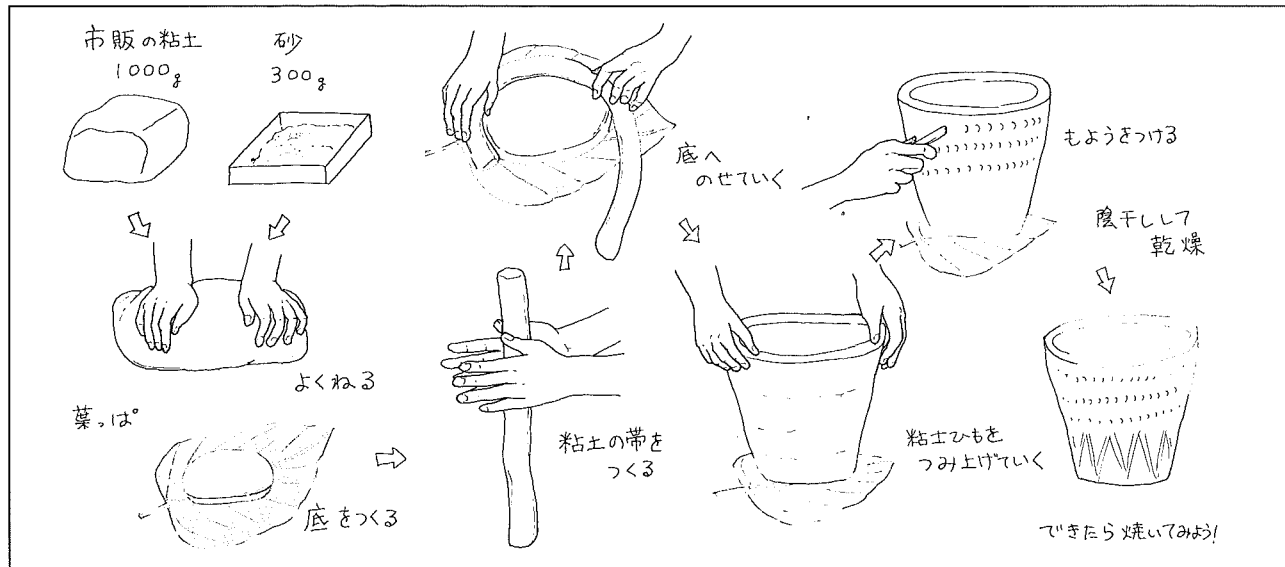
大月市浅利小学校 笹子小学校 勝沼小学校 上野原小学校



勝沼小のみんな

今年はシンゲン君も新しくなり、たくさんの学校で土器づくりをしました。おもに小学校上級生以上なら簡単でしょう。使う粘土は、画材店などで売っている野焼き用粘土(1kg)に砂を約3割(300g)程混ぜてよくねったものを使います。底には葉っぱをして、帯にした粘土ひもを積み上げていきます。うまくイメージ通りできたでしょうか。文様をついたら乾燥させます(1~2週間)。そうしたらいよいよ土器焼きです。燃料はいらぬ材木です。地面を少しくぼめるように穴を掘っておきます。深さは10cmもあればいいでしょう。そこで材木を燃やします。炎がさがって炭火になったらその上に乗った土器を起きます。そして土器の周りを材木でおおいます。自然に火があがります

ので燃え尽きるのを待って出来上がりです。まだ熱いので触ってはいけません。できた土器でご飯でも炊いてみましょう。みんなはどんな土器ができましたか?自分で作った土器はちょっとかっこいいですね。



埋蔵文化財センターからのお知らせ

●昨年(平成12年度)当センターで発掘調査した遺跡の出土品や山梨県内のものを展示しています。百々遺跡の分銅や道々芽木遺跡の海老鍵など山梨の古代を探る上で重要なものがあります。ぜひ見ておいて下さい。

- ・富士吉田市歴史民俗博物館 平成13年7月1日~25日 電話 0555-24-2411
- ・釈迦堂遺跡博物館 平成13年8月4日~27日 電話 0553-47-3333
- ・県民情報プラザ 平成13年10月初~13年10月末 問合せ 埋蔵文化財センターまで

●甲府城の稲荷櫓の工事が始まりました。石垣を測量後、補強のため解体し、積みなおしていきます。

編集後記

外は毎日とても暑く、例年にない厳しさが続いています。慣れてるとはいえ、やはりたいへんですが今年の発掘調査もみんながんばって行っています。近くをとおりかいたら一声かけてのぞいてみてはいかがでしょうか。ちょっと昔の生活をかいま見ることができるとも知れませんが。

maizou-bnk@pref.yamanashi.jp (編集部)

山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし 第9号

発行日 2001(平成13)年8月25日
 編集 山梨県埋蔵文化財センター
 発行 〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923
 TEL055-266-3016 FAX055-266-3882
 印刷 (株)峡南堂印刷所